

2023年度冬季企画展

# 詩書画の美

中田瑞穂生誕130年記念

同時開催



〔第17回〕會津八一の歌を映す  
秋艸道人賞・写真コンテスト  
入賞入選作品展

〔第17回秋艸道人賞受賞作品〕  
安部 諭氏（新潟市中央区）  
「帰り来て夢なほ浅きふるさとの  
枕とよもす 荒海の音」

山月蒼々照烟樹 碧浪湖



頭放船去 隔林夜半  
見孤燈之 知是幽人讀書處

己丑十一月偶尔書高殿詩 於世道人

2023 12/19 [火] - 2024 3/24 [日]

〔会場〕新潟市會津八一記念館

〔開館時間〕10時～18時（17時30分まで受付）

〔休館日〕月曜日（ただし祝日の場合は翌日）、年末年始（12月28日～1月3日）

〔入館料〕一般500円、大学生300円、高校生200円、小・中学生100円  
※団体20名様以上2割引、土日祝日は小・中学生無料

〔主催〕新潟市會津八一記念館 〔共催〕新潟日报社 〔後援〕BSN新潟放送  
〔協力企業〕浅川園、今成漬物店、大阪屋、里仙、高橋酒造



AIZU YAICHI  
MEMORIAL MUSEUM

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1  
新潟日報メディアシップ5F  
Tel.025-282-7612(10:00～18:00)



入館割引券  
本券券面を2割引き  
※他の割引との併用不可  
2024.3.2まで有効

# 中

田瑞穂（俳号…みづほ 1893〜1975）は、戦後、會津八一と親交を深め、主治医的な存在だった人物で、令和5（2023）年で生誕130年を迎えました。

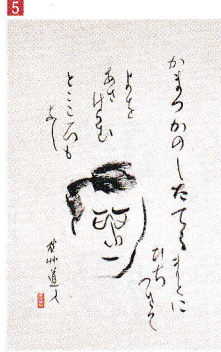
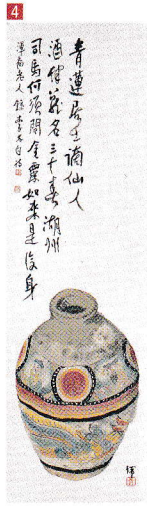
瑞穂は、新潟大学で日本の脳神経外科の礎を築いた名医として知られていますが、俳人としても評価がされています。高濱虚子の門下として、新潟の俳句仲間と請われて昭和4（1929）年から没するまで真萩会を主宰し、俳誌『まほぎ』を創刊。その句は客観写生を標榜し、句友で医師の高野素十と共に研鑽を重ねました。

また、瑞穂は身近な対象物をそのまま忠実に描く水彩の写生画に興味としていました。この写生画はあくまでも自身の楽しみでしたが、対象をそのまま描こうとする姿勢を八一は称賛し、数多くの賛を入れていきます。

もともと瑞穂は「僕の趣味第一等は俳句ではなく書だよ」と知人に漏らしていたほど、書が得意であると自認していました。しかし、八一の書に心酔するあまり、次第に揮毫することは少なくなったといえます。ただし、昭和50（1975）年に当館開館時に建立された石碑「財団法人會津八一記念館」の文字は、瑞穂の書によるものです。

本展では当館が所蔵する會津八一の書画作品、中田瑞穂との合作を中心に紹介いたします。

さらに、17回を迎えた「會津八一の歌を映す」秋艸道人賞写真コンテストの入賞入選作品展も同時開催いたします。



1 中田瑞穂画・會津八一書《鮭図・心無機事案有好事》  
 2 會津八一筆《中田瑞穂宛書簡、昭和25年1月10日》 3 中田瑞穂画・會津八一書《吊るし柿図・あさひさす》  
 4 中田瑞穂画・會津八一書《老酒壺図・青蓮居士誦仙人》 5 會津八一書画《自画像図・かまづかの》

## EVENT INFORMATION 関連イベント

### 1 文芸講演会 事前申込制 「脳外科の父・俳人みづほ 心友秋艸道人と俳句」

【講師】山内春夫先生（新潟大学名誉教授、若萩〈医学部俳句部〉）  
 【日時】2024年3月7日（木）14:00～15:30  
 【会場】日報ホール（新潟日報メディアシップ2階）  
 【聴講料】500円 【定員】120名

### 2 野中吟雪館長による作品鑑賞会

【日時】2024年3月10日（日）14:00～約50分  
 【会場】当館展示室（申込不要/要当日観覧券）



### 3 学芸員による作品解説会

【日時】会期中の第2・4日曜日（12月24日、1月14日、28日、2月11日、25日、3月10日、24日）11:00～約50分  
 【会場】当館展示室（申込不要/要当日観覧券）

### 4 「會津八一の歌を映す」第17回 秋艸道人賞 写真コンテスト入賞入選表彰式・公開講評会 事前申込制

【日時】2024年2月24日（土）午後2時～4時（予定） 【講評】淺井慎平氏（写真家）、村尾誠一氏（東京外国語大学名誉教授）、若松保広氏（仏像写真家）を予定  
 【会場】新潟グランドホテル（〒951-8052 新潟市中央区大川前通3ノ町2230番地） 【定員】80名 【聴講料】無料 ※事前申し込みが必要です



〈新潟市長賞〉  
「み雪降る」  
大滝登氏  
（新潟市西区）



〈胎内市長賞〉  
「天地に」  
山田光枝氏  
（新潟市北区）



〈新潟日报社賞〉  
「わが友よ」  
渡邊隆氏  
（新潟市西区）



〈BSN賞〉  
「みほとけの」  
佐藤権氏  
（新潟県長岡市）



〈八栗寺わたつみ賞〉  
「しぐれの雨」  
柳本恵子氏  
（奈良市）



〈審査員特別賞〉  
「み雪降る」  
高橋ノリユキ氏  
（新潟市北区）

### お申し込み方法

※イベント1と4の聴講をご希望される方は、専用申込フォームが往復はがきのいずれかでお申し込みください。往復はがきの場合、参加を希望するイベント名と、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、會津八一記念館までお送りください（ただし1通につき1イベント、1名様までのご応募といたします）。定員に達し次第締め切ります。



専用申込フォームはこちら

期間中、本展覧会名を2人の書家による揮毫で展示室前に掲示しています。

- 12月19日～2月4日：今井暁歩先生〈新潟県書道協会理事〉
- 2月6日～3月24日：渡邊南嶺先生〈新潟県書道協会理事〉



〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ 5F  
 TEL.025-282-7612 / FAX.025-282-7614  
 当館へはメディアシップのエレベーターをご利用ください。（階段はございません）

◎交通のご案内 新潟駅からバス約9分、タクシー約5分、徒歩約15分、新潟空港からタクシー約15分  
 ◎駐車場のご案内 メディアシップ駐車場（24時間営業）第1駐車場は220円、第2駐車場は200円（第1、第2共に30分 税込）  
 ※周辺には、万代シティ駐車場、朱鷺メッセ駐車場などもございます。

